

科目	数学研究β	単位数	2	学年	3	学級	A～I 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	-------	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	数学ⅠAの内容について、より高度な内容についての考察を深め、理論に従って問題を解決する能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書「高等学校数学Ⅰ」「高等学校 数学A」(数研出版) 問題集「キートレーニング数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B」(数研出版)

期	月	学習項目	学習内容の説明
前	4	方程式と不等式	複雑な式の因数分解などの発展的内容についても理解させる。文字係数や絶対値を含むなど、複雑な方程式についての考察を深めさせるとともに、不等式についてもより高度な内容について考えさせる。
	5	2次関数	
	6		2次関数のグラフを利用して、関数の決定や平行・対称移動、最大最小に関する考察ができるようにさせる。また、定義域や頂点が動く場合などの複雑な条件を具備した問題にも触れさせ、解決できるようにさせる。
	7	図形と計量	三角比の基本を押さえ、使いこなせるようにする。三角比相互の関係を踏まえた上で、複雑な方程式や不等式が解けるようにさせる。
後	9	場合の数と確率	順列や組合せの使い分けに慣れさせるとともに、様々な状況での数え上げに対応できるようにさせる。
	10	論理と集合	集合について考察を深め要素の個数を求めることができるようにさせる。同時に命題についての基本的な内容を理解させ、複雑な論理思考に慣れる。
	11	平面図形	三角形などの平面図形や四面体などの空間図形において、様々な値を求めたり、辺と角の関連性を理解できたりするようにさせる。同時に、図形の特性を把握、理解し、応用して様々な問題に対応できるようにする。
	12 1	総合問題演習	これまでの学習を総合的に捉え、問題を多角的に考察する能力を育成させる。

評価の観点及び評価方法	関心・意欲・態度	自ら問題解決ができていますか。
	数学的な見方や考え方	さまざまな視点から考えることができていますか。
	数学的な技能	計算が的確に処理できていますか。数学的な解答になっているか。
	知識・理解	定義や定理をしっかりと理解し、適切な箇所で用いる事ができていますか。
	評価方法	定期考査を7割から8割程度とし、提出物、授業への積極的参加、4つの観点を総合的に評価し、平常点を2割から3割程度の配分で評価する。
担当教諭から		授業中はノートを取ることにばかりに気をとられずにしっかり話を聞き、わからない部分については質問をしてください。